

秋田県立博物館収蔵蛾類標本の 過去の報告における誤同定の訂正と分類が見直された種の再同定

梅津 一史*・藤中 由美**

Correction of misidentification in previous reports of moths specimens in Akita Prefectural Museum and re-identification of species whose classification was revised

Kazushi Umetsu* and Yumi Fujinaka**

キーワード：秋田県立博物館収蔵蛾類標本，誤同定の訂正，再同定

Key words : Moths specimens collection of Akita Prefectural Museum, correction of misidentification, re-identification

筆者らは、秋田県立博物館収蔵の昆虫標本について、同定を確認しながら標本番号の付与や表計算ソフトでのリスト作成を行って整理を進めている。この作業の中で、過去に秋田県立博物館研究報告に掲載された地域昆虫相の報告に用いられた標本の誤同定が明らかになったものがあった。また、報告後に分類の見直しが行われて1種とされていたものが複数種からなることが明らかにされたものについて、再同定を行った。昆虫標本の整理はまだ継続中であるが、ここでは蛾類標本についてこれまで明らかになった結果を報告する。

同定は主に梅津が行った。各標本について、採集データを再掲し、標本番号（AKPM-I-に続く番号）、掲載された報告を示した。

報告にあたり、ウスサカハチヒメシャクを同定していただいた金子岳夫氏（豊橋市）に感謝を申し上げる。

分類の見直しで複数種に分割されたもの

・*Microleon* 属（イラガ科）

国内の *Microleon* 属は、*M. longipalpis* Butler, 1885 テングイラガ1種とされていたが、佐々木 (2016) によって3種が含まれることが示され、和名も改称された。

Microleon decolatus Sasaki, 2016 キマダラテ
ングイラガ

冬師 5 Jul. 1997 ♂ AKPM-I-41684

梅津・田中 (1998) で *M. longipalpis* テング

イラガとして報告

宮沢海岸 10 Jul. 2013 ♀ AKPM-I-38274

梅津 (2015) で *M. longipalpis* テングイラガ
として報告。

Microleon longipalpis Butler, 1885 クロフテ
ングイラガ

玉川戸瀬 4 Jul. 1998 ♂ AKPM-I-44621

梅津 (2001) で *M. longipalpis* テングイラガ
として報告。

・*Lomaspilis* 属（シャクガ科）

Lomaspilis marginata (Linnaeus, 1758) シロ
オビヒメエダシャクとされていた種には、佐藤
(2017) によってもう1種が存在することが示
されるとともに、シロオビヒメエダシャクは *L.*
opis であることが明らかにされた。

Lomaspilis opis opis Butler, 1878 シロオビヒ
メエダシャク

玉川戸瀬 14 Sep. 1998 ♂ AKPM-I-42847

梅津 (2001) で *L. marginata* シロオビヒメ
エダシャクとして報告。

Lomaspilis mitsuui Sato, 2017 ヒゲブトシロオ
ビヒメエダシャク

玉川戸瀬 9 Sep. 1997 ♂ AKPM-I-42849, 同 4
Jul. 1998 ♀ AKPM-I-42850, 同 3 Jul. 1999 ♀
AKPM-I-42851

梅津 (2001) で *L. marginata* シロオビヒメエ
ダシャクとして報告。いずれの標本も佐藤(2017)
で paratype に指定されている。

*秋田県立博物館ボランティア，**秋田県立博物館

・ *Aemene* 属 (ヒトリガ科)

Aemene altaica (Lederer, 1855) ホシオビコケガとされていた種には2種が混じっていることが岸田 (2018) によって示され, 和名も改称された。

Aemene altaica (Lederer, 1855) クシヒゲホシオビコケガ

玉川戸瀬 21 Jul. 1998 ♂ AKPM-I-43297

梅津 (2000) で *A. altaica* ホシオビコケガとして報告。

Aemene takahashii Kishida, 2018 クシナシホシオビコケガ

冬師 26 Jun. 1992 ♀ AKPM-I-42334, 同 23

Sep. 1995 ♀ AKPM-I-42336

いずれも梅津・田中 (1996) で *A. altaica* ホシオビコケガとして報告。

・ *Tiracola* 属 (ヤガ科)

Tiracola plagiata (Walker, 1857) ヤクシマヨトウが国内に産するとされていたが, 杉 (2001) によってこれが *T. aureata* Holloway, 1989 であること, 沖縄に *T. plagiata* が産することが示され, それぞれに新たな和名が与えられた。さらに Watabiki & Yoshimatsu (2013) が♀交尾器による識別点を示し, 両種の確実な同定が可能になった。

Tiracola plagiata (Walker, 1857) ノコバヨトウ

冬師 5 Jul. 1997 ♀ AKPM-I-41146

梅津・田中 (1998) で *T. plagiata* ヤクシマヨトウとして報告。

外観 (Fig. 1) と♀交尾器 (Fig. 2) を示した。日本国内の本土域では *T. aureata* オオノコバヨトウの方が記録が多く, 本種の北日本からの記録はなかった。いずれの種についても, 北日本は恒常的な生息域ではないと思われ, この記録も偶産と考えられる。

誤同定が明らかになったもの

Eudemis lucina Liu & Bai, 1982 ナカグロマルモンヒメハマキ

玉川戸瀬 6 Aug. 1999 ♂ AKPM-I-44388, 同 20

Aug. 1999 ♂ AKPM-I-44389, 同 26 Jul. 2000 ♂ AKPM-I-44390

いずれも梅津 (2001) で *E. porphyrana* サクラマルモンヒメハマキとして報告。

Phaneta bimaculata (Kuznetsov, 1966) アトフタモンヒメハマキ

戸賀塩浜 18 Apr. 2003 ♂ AKPM-I-44985, 同データ ♀ AKPM-I-44986, 同データ ♀ AKPM-I-44987

いずれも梅津, (2006) で *Leuroperna sera* ヒロバコナガとして報告。

Scopula semignobilis Inoue, 1942 ウスサカハチヒメシャク

戸賀塩浜 8 Aug. 2001 ♀ AKPM-I-45719

梅津, (2006) で *Scopla longicerata* ウスウラナミヒメシャクとして報告。

金子岳夫氏に, 外観と交尾器の写真によって同定していただいた。

Pelosia ramosula jezoensis Okano, 1959 クロミヤクホソバ

冬師 6 Aug. 1992 ♀ AKPM-I-42327, 同 10 Aug. 1992 ♂ AKPM-I-42328

いずれも梅津・田中 (1996) で *Eilema deplana* ムジホソバとして報告。

Araeopteron flagmentum Inoue, 1965 マダラホソコヤガ

宮沢海岸 9 Sep. 2013 ♂ AKPM-I-38606, 同 9 Sep. 2013 ♂ AKPM-I-38607, 同 1 Aug. 2014 ♂ AKPM-I-38608

いずれも梅津 (2015) で *Araeopteron flaccidum* シロホソコヤガとして報告。

日本国内の *Araeopteron* 属については, 平野 (2021) が再検討して多くの新種記載を行い, 外観や交尾器による識別点を示したことでより確実な同定が可能になった。これをもとに再同定したところ, 誤同定が明らかになった。

Sugia erastroides (Draudt, 1950) ニセシロフコヤガ

冬師 21 8 1996 ♀ AKPM-I-41397

梅津・田中 (1998) で *Sugia stygia* ウスシロフコヤガとして報告。

Trichosea ludifica (Linnaeus, 1758) キタキバラケンモン

秋田駒ヶ岳八合目駐車場 18 Aug. 1998 ♂ AKPM-I-26430, 同データ ♀ AKPM-I-26431

梅津 (1999) で *Trichosea ainu* ニセキバラケンモンとして報告.

玉川戸瀬 23 May 1998 ♀ AKPM-I-43380

梅津 (2000) で *Trichosea ainu* ニセキバラケンモンとして報告.

Capsula sparganii (Esper, 1790) キスジウスキヨトウ

冬師 21 8 1996 ♂ AKPM-I-41260

梅津・田中 (1998) で *Archanara aerata* ガマヨトウとして報告

引用文献

平野長男, 2021. 東アジアの *Araeopteron* 属の検討と 10 新種の記載. *Tinea* 26(1): 79-113.

岸田泰則, 2018. 日本のホシオビコケガについて - 含む 1 新種の記載 -. 蛾類通信 285: 233-236.

佐々木明夫, 2016. 日本産 *Microleon* 属 (イラガ科) の再検討と 2 新種の記載. 蛾類通信 279: 99-106.

佐藤力夫, 2017. 日本産 *Lomaspilis* 属 (シヤクガ科エ

ダシヤク亜科) の再検討. 蛾類通信 282: 180-186.
梅津一史, 1999. 秋田駒ヶ岳山頂部で採集した蛾類. 秋田県立博物館研究報告 24: 9-14.

杉繁郎, 2001. 属 *Tiracola* の第二の種ノコバヨトウ (新称) の発見. 蛾類通信 212: 217-219.

梅津一史, 2000. 秋田県田沢湖町玉川戸瀬の蛾類 (1). 秋田県立博物館研究報告 25: 9-36.

梅津一史, 2001. 秋田県田沢湖町玉川戸瀬の蛾類 (2). 秋田県立博物館研究報告 26: 13-26.

梅津一史, 2006. 秋田県男鹿半島戸賀の蛾類. 秋田県立博物館研究報告 30: 29-44.

梅津一史, 2015. 男鹿市宮沢海岸で採集した蛾類. 秋田県立博物館研究報告 40: 9-24.

梅津一史・田中政行, 1996. 秋田県仁賀保町冬師の蛾類. 秋田県立博物館研究報告 21: 17-35.

梅津一史・田中政行, 1998. 秋田県仁賀保町冬師の蛾類 (2). 秋田県立博物館研究報告 23: 7-22.

Watabiki, D. & S. Yoshimatsu, 2013. Distinguishing the externally similar imagines of *Tiracola plagiata* and *T. aureata* whose forewing length were shown to overlap (Lepidoptera, Noctuidae). *Lepid. Sci.* 64: 123-127.



Fig. 1 *Tiracola plagiata* ノコバヨトウ

スケールバーは 10mm.



Fig. 2 同♀交尾器.